

大分港港湾計画 —改訂—

平成18年11月30日

交通政策審議会

第20回港湾分科会

資料2-2



大分港の港湾計画改訂の方針

背景・要請

- ① 産業基盤としての機能の高度化・多様化
- ② 活気ある交流拠点の充実と、親水空間の創出
- ③ 別府湾内における放置艇の収容
- ④ 大規模地震に対する十分な備え

計画の基本方針

【物流】 物流機能の拡充・強化

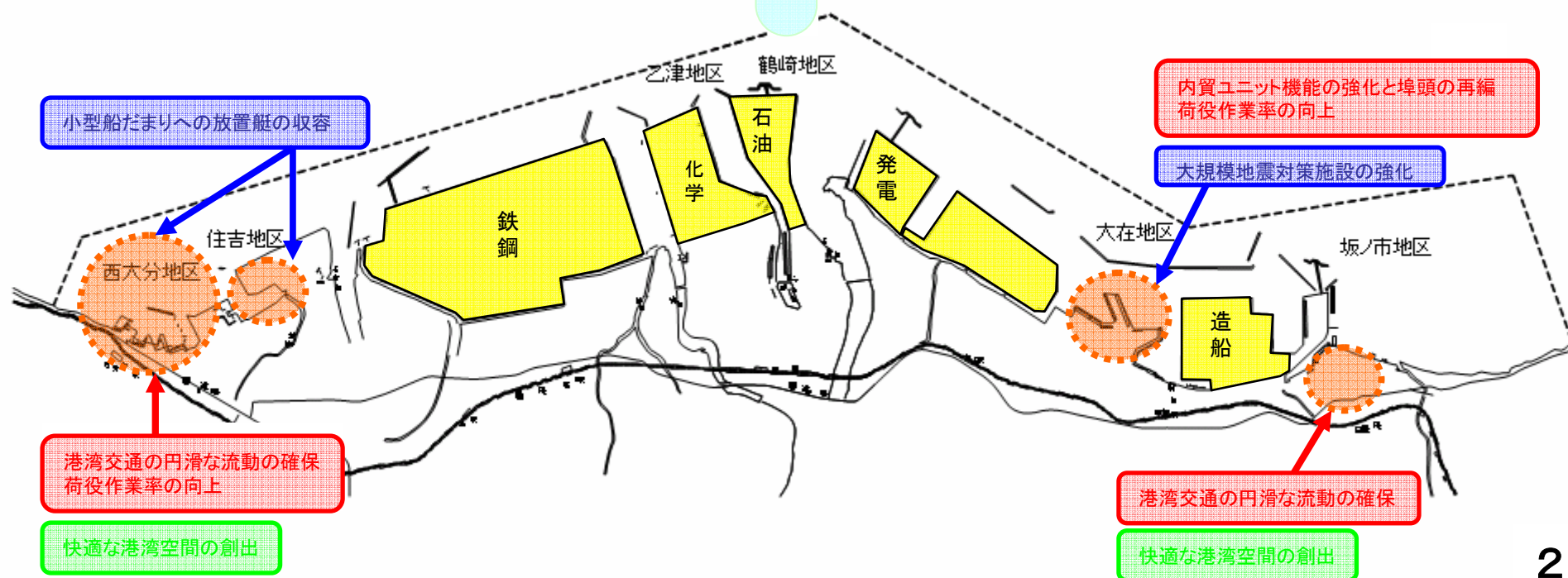
- ① 内貿ユニット機能の強化と埠頭の再編
- ② 荷役作業率の向上
- ③ 港湾交通の円滑な流動の確保

【交流・環境】 快適な港湾空間の創出

- ① 人々と港を結ぶ賑わいのある親水空間の創出

【安全】 安全な港の形成

- ① 放置艇の適切な収容による航行船舶の安全性の向上
- ② 大規模地震対策施設の強化



【物流】 物流機能の拡充・強化

①内貿ユニット機能の強化と埠頭の再編



【課題】

内貿ユニット貨物と砂・砂利の増加



ヤードの不足、船舶の大型化

【対応】

○ユニット貨物のための岸壁を増深し、十分なヤードを確保。

○埠頭の再編による砂・砂利の集約。

大在地区



野積みされた砂・砂利



増加しているユニット貨物

【内貿公共埠頭】
水深-7.5m岸壁 1B 130m

【内貿ユニットロードターミナル】
水深-9m岸壁 2B 440m

【多目的国際ターミナル】
水深-14m岸壁 1B 280m
(既定計画)

【物流】 物流機能の拡充・強化

②荷役作業率の向上



西大分地区

【課題】

フェリーの大型化

↓
既設防波堤を一部撤去

↓
静穏度が確保されない

【対応】

防波堤を新設、延伸し静穏度を確保

【西防波堤(A)】50m



【北防波堤】140m
【東防波堤】40m撤去

大分地区

【課題】

静穏度の確保が十分でない状況にある。

【対応】

防波堤を新設し静穏度を確保



【中防波堤】270m(既定計画)
【東防波堤】100m(既定計画)

【西防波堤】230m

【物流】 物流機能の拡充・強化

③港湾交通の円滑な流動の確保



西大分地区

【課題】
臨港道路の線形が複雑

【対応】
線形を見直し、円滑な港湾交通を確保



クランク型を
直線型へ



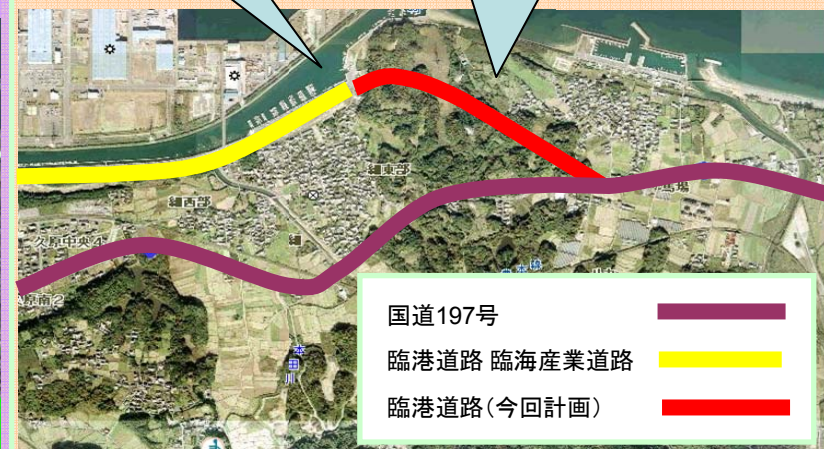
坂ノ市地区

【課題】
臨海産業道路の先端が行き止まりになっている
↓
港湾貨物の流動に支障

【対応】
国道197号へ接続し、港湾
貨物の円滑な流動を確保

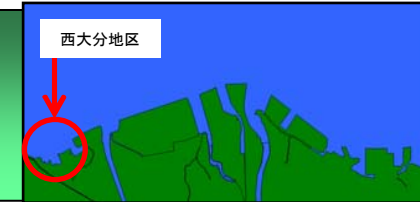
臨海産業道路
の行止まり

国道197号へ接続



【交流・環境】 快適な港湾空間の創出

①人々と港を結ぶ賑わいのある親水空間の創出



【背景】

大分港の水際線は、工業用地や物流施設により多くが占められている



海や港で憩い楽しめる空間が求められている

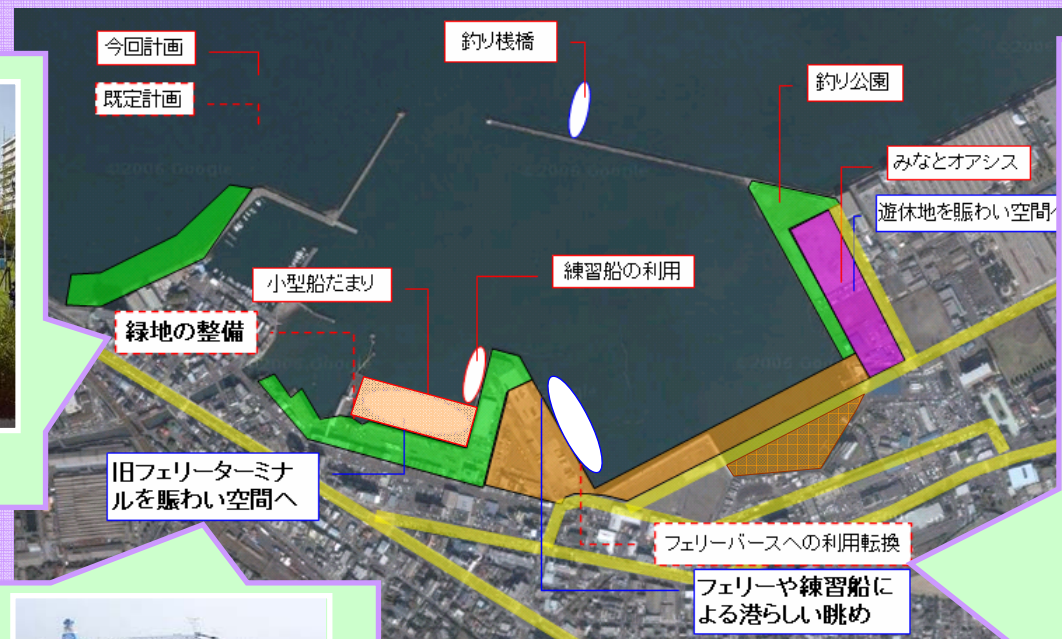
【対応】

海や港で憩い楽しめる空間を創出し、地域の活性化にも役立てる。

- ・旧ターミナルエリアを活用した賑わい空間の創出
- ・フェリーや練習船による港らしい眺め
- ・民間活力による遊休地の賑わい空間への転換
- ・緑地、釣り桟橋、海浜の整備(西大分地区、坂ノ市地区)



美しく整備された緑地



西大分地区



係留中の練習船



入港するフェリー



イベント開催状況



緑地の利用状況

【安全】 安全な港の形成

① 放置艇の適切な収容による航行船舶の安全性の向上

【課題】

別府湾では数多くの小型船が利用されているが、不法係留が行われている

↓
船舶の安全な航行の妨げ

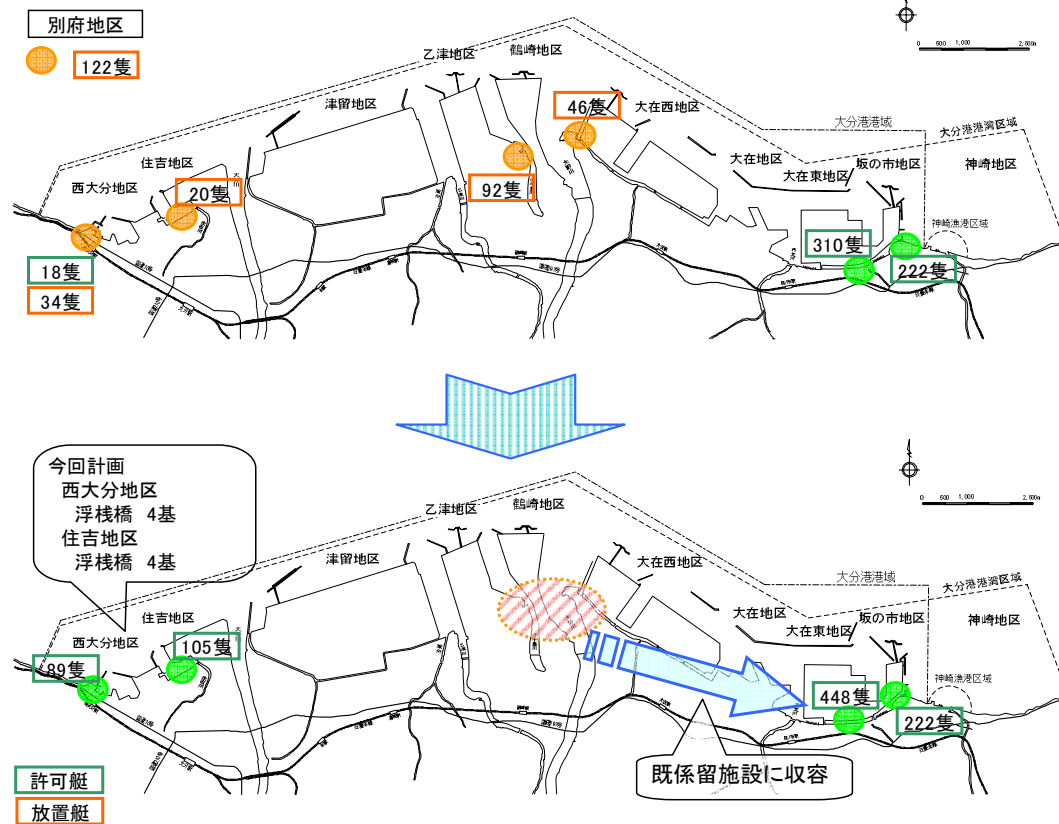
【対応】

西大分地区及び住吉地区に小型船だまりを整備し、大分港内外の小型船を収容する。

施設

西大分地区 : 浮棧橋 4基

住吉地区 : 浮棧橋 4基



不法係留の状況



適正な収容状況

【安全】 安全な港の形成

②大規模地震対策施設の強化



【課題】

福岡西方沖地震(M7.0)、大分県南部地震(M5.5)の大規模地震の発生

↓
大規模地震に対しての備えが十分でない

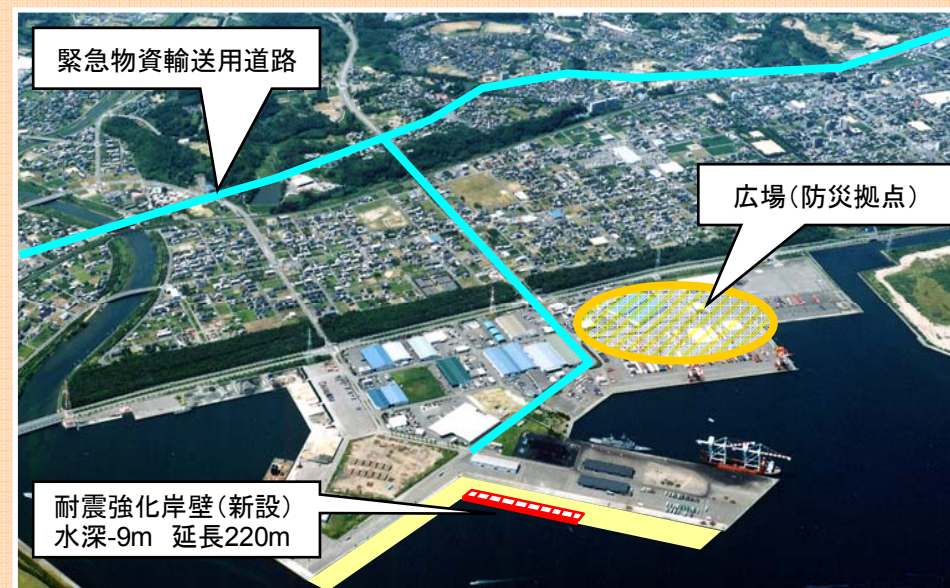
【対応】

耐震強化岸壁を適切に配置し、震災時の緊急物資輸送に対応するとともに、緊急物資の保管、復旧・復興活動を支援するための大規模地震対策施設を計画する。

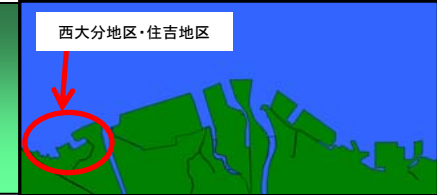
西大分地区



大在地区



【その他】 大規模埋立計画の見直し



【背景】

取扱貨物需要の見直し



【対応】

埋立計画の削除、将来構想への変更

